

2016 年 8 月 16 日
InterRisk Asia Thailand

タイ南部で発生した連続爆発

8 月 10 日から 12 日（8 月 12 日は national mother's day：タイ国王妃の誕生日）にかけて、タイ南部で連続爆発事件が発生しました。この事件により、少なくとも 4 名が死亡、20 名以上が重軽傷を負いました。

タイ国警察は、現時点で同一組織による犯行と結論付けることはできないものの、いずれの事件も同じ種類の爆弾が使用されたと公表しています。

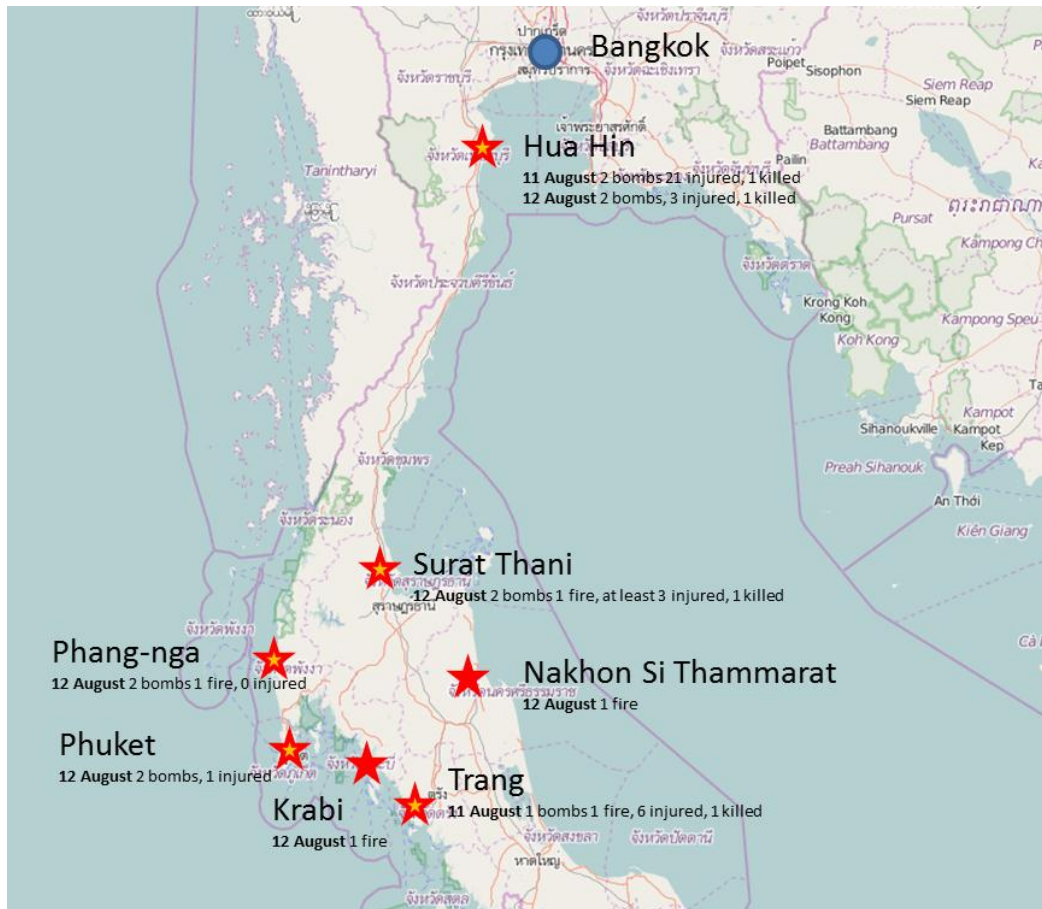
1. 事件の概要

今回発生した連続爆発事件の概要は下表の通りです。

発生日	場所	概要
8 月 10 日	Phuket ・ Kathu 地域	Paradise 市場と China Town プラザで衣料品に隠された爆弾を発見。いずれも携帯電話を起爆装置とする爆弾であったが不発処理に成功。当事件に関連して 2 名の男性を留置。
8 月 11 日	Trang	Provincial Town ホール から 100m の位置にある Center Point 市場で爆弾が爆発し、1 名が死亡、7 名が負傷。
	Hua Hin	John 56 beer バーで 2 つの爆弾が爆発。
		Raintree スパで爆弾が爆発し、1 名が死亡、21 名が負傷。
8 月 12 日	Phuket ・ Patong 地域	Loma public 広場で爆発が発生し、1 名が負傷。
	Surat Thani	Muang Surat 警察署前で爆弾が爆発。けが人なし。
	Phuket ・ Kathu 地域	交通制御盤で爆弾が爆発。けが人なし。
	Hua Hin	Clock Tower で爆発が発生し、1 名が死亡。
	Phangnga ・ Kua Pa 地域	Bang Niang 市場で爆弾が爆発。
	Phuket	Ban Thai ホテル内で菓子の缶に入った爆弾を発見。

8 月 12 日には、タイ南部にある 5 つの県で火災も報告されています。警察は一連の爆発事件との関連について明確にしていますが、参考情報として下表にまとめます。

発生日	場所	概要
8 月 12 日	Phangnga ・ Khao Lak 地域	観光客に人気がある weekend 市場で火災が発生。
	Krabi ・ Ao Nang 地域	衣料品土産店で火災が発生。
	Surat Thani	Kanchanavithree Road の Taveesin Plastic Shophouse で火災が発生。
	Trang	Sataneer Road の Lee Mart Super Ka Song（宝石店）で火災が発生。
	Nakhon Si Thammarat	Tesco Lotus store の菓子コーナーで火災が発生。



爆発・火災発生場所

タイでは、2015年8月17日のバンコク・エラワン廟での爆発等、過去数回に渡って公共の場所を狙った爆弾テロが発生しており、今回の爆発、火災も観光客等が多く訪れる公共の場所で発生しています。

NCPO（National Council for Peace and Order）は、今回発生した一連の事件は2016年8月7日の国民投票（新憲法案が賛成多数で可決）を受けた政治的な動機が背景にある可能性を示唆しています。また、Thai intelligence officials は、今回の事件が南部独立運動組織 BRN（Barisan Revolusi Nasional）の犯行による可能性があるとしています。このように、犯行グループについて複数の仮説が示されていますが、確定には至っていません。

今回の爆発事件でタイにおける治安の悪化が懸念されており、経済活動にも影響が出ています。過去に発生した同様の事件との関連も明確になっていませんが、タイでは引き続きテロに対する注意が必要です。

2. 爆発・爆弾発見場所

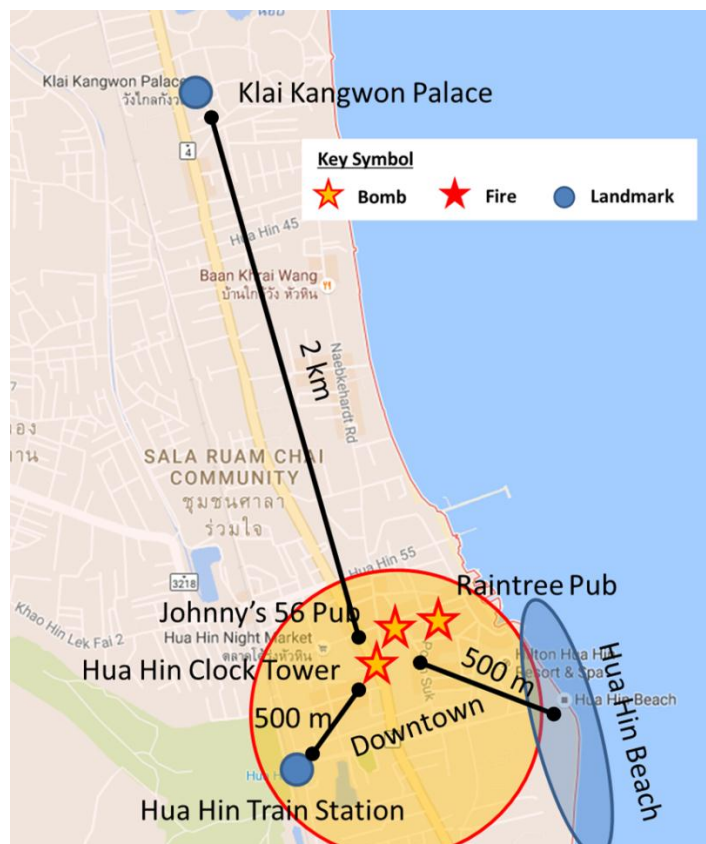
Trang:

爆発は Center Point Market で発生しました。火災が確認された Lee Mart Super Ka Song は同地点から 1km の場所にあります。



Huahin:

Huahin はビーチが有名な観光名所であり、王室の別荘（KlaiKangwon Palace）がある場所でもあります。爆発はパブが立ち並ぶ地域と、ランドマークである Clock Tower で発生しました。

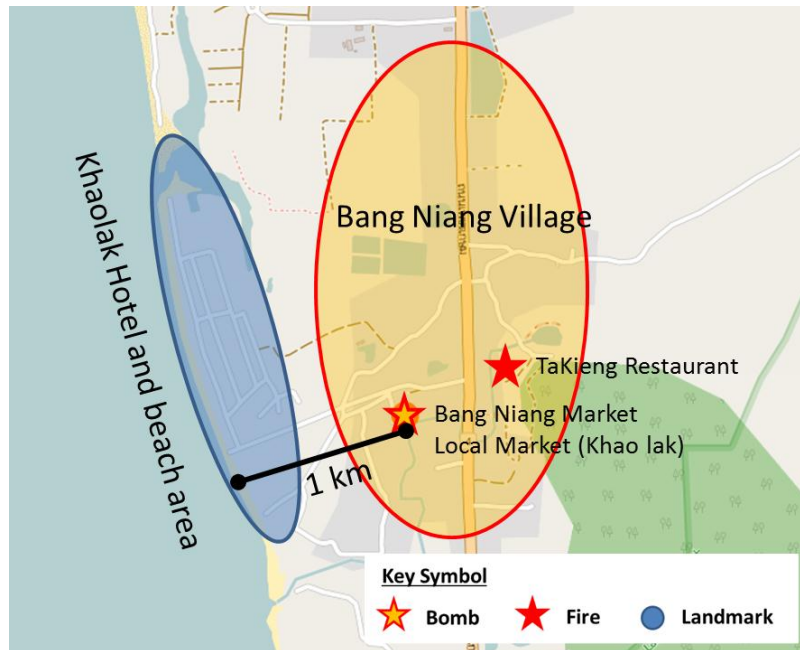


爆発は観光地として有名な Patong Beach に近いエリアで発生しました。爆弾は、市場、ホテル、ビーチに仕掛けられていました。



Phangnga:

爆発は Bang Niang Village の市場で発生しました。Bang Niang Village は観光客が集まる Khaolak エリアの近くに位置しています。同エリアには、観光客向けのホテルや、Similan 島、Tachai 島、PhiPhi 島といった North Andaman 海のダイビングスポットへのフェリー発着場があります。



3. 爆弾の種類

今回使用された爆弾は、Explosive bomb、Fire bomb の 2 種類です。

Explosive bomb

Explosive bomb は人間の殺傷を目的として使用される爆弾であり、Trang や Huahin の爆発では携帯電話の通話機能またはアラーム機能が起爆装置として使用されました。通常、犯行組織によって自作され、内部に殺傷能力を高めるための金属球やくぎが詰め込まれるケースもあります。2015 年 8 月にエラワン廟で発生した爆発事件や、2010 年のバンコク騒乱で使用されたのもこのタイプの爆弾です。

Suratthani では、警察による爆弾捜索をかく乱するため、爆発のターゲットではない場所に、爆発音のみが生じるダミーの爆弾が仕掛けられました。

なお、Aljazeera の報道によれば、起爆装置として使用された携帯電話の一部はマレーシア製であったと伝えられています。

Fire bomb

Fire bomb は様々な容器で製作することが可能であり、Nakhon Si Thammarat では菓子の容器、Phuket では殺虫剤の容器を用いた Fire bomb が発見されました。

Fire bomb は、容器の内部に仕掛けられたデジタル時計でスパークを発生させ、容器内のガソリンやアルコールに引火することで火災を発生させる仕組みであり、爆発音は生じません。

4. 過去にタイで発生した爆発事件

タイでは過去 6 年の間に少なくとも 15 回以上、爆弾に関連する事件が発生しており、多くは観光地やショッピングセンター、警察署などの公的施設がターゲットになっています。

主な爆発事件（爆弾発見を含む）を下表にまとめます。

年	月	場所	概要
2010 年	7 月	Bangkok	バンコク中心部のバス停で爆発が発生。9 名が死亡。
	10 月	Bangkok	マンションで爆発が発生。4 名が死亡。反政府勢力の犯行が疑われたが、当該組織は関与を否定。
2011 年	12 月	Bangkok	バンコク東部の 3 箇所で爆弾を発見。警察による不発処理に成功。
2012 年	2 月	Bangkok	爆発が連続して発生し、数名が負傷。イラン人によるイスラエル外交官の殺害が目的とされ、2 名のイラン人を逮捕。
2013 年	3 月	Bangkok	バンコク郊外のショッピングセンターでゴミ箱に仕掛けられた爆弾が爆発。7 名が負傷。
2014 年	1 月	Bangkok	反政府勢力が 2 発の爆弾で攻撃され、28 名が負傷。
	2 月	Bangkok	観光客にも有名なショッピングセンターで反政府勢力の集会が手榴弾で攻撃され、女性 1 名、子供 1 名が死亡。
		Bangkok	ショッピングセンターで手榴弾が爆発し、子供 2 名を含む 3 名が死亡。
	3 月	Chiang Mai	手榴弾による連続爆発事件が発生し、4 名が負傷。
2015 年	2 月	Bangkok	バンコク市街地のショッピングモールで 2 発の爆弾が爆発し、1 名が負傷。
	4 月	Samui	リゾート地のサムイ島でピックアップトラックに仕掛けられた爆弾が爆発し、イタリア人女性を含む 7 名が負傷。
	8 月	Bangkok	バンコク市街地のエラワン廟で爆弾が爆発し、中国人観光客を含む 20 名が死亡。
2016 年	4 月	Southern Thailand	警察署周辺で爆発事件が発生し、7 名以上が負傷。

5. 大使館の注意情報

各国大使館はタイの居住者および旅行を計画している人々に対して注意情報を発信しています。本稿では、アメリカ、イギリス、オーストラリアおよび日本大使館からの情報を紹介します。

アメリカ

アメリカ大使館は、ホアヒンでの爆発の後、以下の注意情報を発信しています。
「旅行者は爆発が発生した地域への立ち寄りを避けるとともに、ローカルニュースをチェックし、人が多く集まるイベント等に注意してください。常に周囲を警戒し、当地の警察や地方組織の指示に従ってください。」

なお、アメリカ政府は、上述の注意に加え、居住者、旅行者に滞在確認システムに登録するよう呼びかけています。

イギリス

The Foreign and Commonwealth Office (FCO) は、Pattani 県、Yala 県、Narathiwat 県、Songkhla 県（マレーシアとの国境に位置する県）への旅行者に対して、以下の注意情報を発信しています。
「8 月 11 日、12 日に、タイの複数の観光地で爆発が発生しました。FCO は当地の警察、地方組織と連絡を取り、情報を収集しています。周囲に最大限の注意を払い、人が多く集まる場所を避け、警察等の指示に従ってください」

オーストラリア

オーストラリア大使館は、今後タイ各地で爆発が発生する可能性があるとして、特に Yala 県、Pattani 県、Narathiwat 県、Songkhla 県への立ち寄りを避けるよう促しています。

日本

日本大使館は、以下の注意情報を発信しています。
「タイに渡航・滞在を予定している方または既に滞在中の方は、今後もしも不測の事態が発生する可能性が排除できません。同一の県内で複数回の爆発事件が発生している場合もありますので、最新情報を入手するなど治安状況等の把握に努め、外出される際には十分な安全対策をとってください。」

6. 今後の注意事項

今回発生した連続爆発事件および近年の爆弾に関連する事件では、観光地や人が多く集まる市場、ショッピングセンター、警察署などの公的施設がターゲットになるケースが多いと言えます。昨年の 8 月 17 日には 20 名が死亡したエラワン廟での爆発事件が発生していること、また今回の事件との直接的な因果関係は不明であるものの、8 月 7 日に行われた国民投票直後の時期ということもあり、これからしばらくの間は上記の場所にはできるだけ近づかないよう注意が必要と考えられます。

参照

<http://edition.cnn.com/2016/08/12/asia/thailand-explosions/>

<http://www.bangkokpost.com/news/general/1059688>

https://en.wikipedia.org/wiki/Timeline_of_events_related_to_the_South_Thailand_insurgency

<http://www.nationtv.tv/main/content/crime/378512786/>

<http://www.bangkokpost.com/news/politics/1061584/south-insurgency-linked-to-blasts>

<http://www.bbc.com/news/world-asia-37046943>

<http://www.bbc.com/news/world-asia-33970901>

<http://thediomat.com/2015/08/interview-analyzing-thailands-erawan-shrine-bomb-blast/>

<http://www.aljazeera.com/news/2016/08/thailand-asks-malaysia-hunt-bombing-suspect-160814150547950.html>

<http://www.bangkokpost.com/news/general/1059688>

<https://th.usembassy.gov/security-message-u-s-citizens-update-bombings-hua-hin-incidents/>

<https://www.gov.uk/foreign-travel-advice/thailand>

<http://smartraveller.gov.au/Countries/asia/south-east/Pages/thailand.aspx>

<http://www.th.emb-japan.go.jp/jp/news/160812-3.htm>

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等は、お近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々および読者の方々が所属する組織のリスクマネジメントの取組みに役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立されたMS & AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 : InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.
175 Sathorn City Tower 9th Floor. South Sathorn Road.
Thungmahamek. Sathorn. Bangkok 10120. Thailand
<http://www.interriskthai.co.th/>
Direct: +66-(0)-2679-5276
Fax: +66-(0)-2679-5278